



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー
藤中秀幸
GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

「基本的教育と識字率向上月間」 と「ロータリーの友月間」

9月は「基本的教育と識字率向上」を強調した特別月間です。また、国際ロータリー理事会が2015-16年度から特別月間を大きく変更したのに伴い、日本独自の特別月間としてロータリーの友委員会・理事会が9月を「ロータリーの友月間」として新設することを決定しています。

この「基本的教育と識字率向上」はロータリーの6つの重点分野の一つです。世界には子供たちが基本的教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があり、これらの国や地域において基本的教育を提供し、識字率を上げることは貧困や差別の減少、健康状態の改善、更には地域社会や経済の発展そして平和構築などの糸口をつかむことに繋がってきます。

ここで近代日本の発展の大きな要因となった江戸時代の基本的教育と識字率の高さについて考察してみます。

武士は文武の教養が求められることから、昌平坂学問所をはじめ各藩が開設した藩校で教育を受け識字率はほぼ100%、庶民にあっては、読み書きを中心とする簡易な教育機関として庶民自身の主体的な発意で自然発生したといわれる寺子屋が全国1万5千～2万軒あり、これが庶民の50%に達していたと云われる識字率や知識を高め、江戸時代に花開いた芸術文化、

工芸、建築など様々な分野を支えた一因となっていました。それは1853年、アメリカから日本にやって来たペリー提督の日記に「日本人は読み書きが普及していて、見聞を得ることに熱心で田舎にまでも本屋があり、日本人の本好きと識字率の高さには驚いた」との記述からも明らかです。

また、文化庁の国語施策百年史にも敗戦後、日本の民主化の一環としてGHQの民間情報教育局が日本語のローマ字化を推進しようとした際にも、日本人の識字率の高さが母国語の存在を守ったと記されています。

私たちには、先人が築き育んだ日本語の奥深さを再確認し次世代に伝える義務があります。

ところで、2710地区においては、財団奨学生の多くが紛争地域の子供たちの教育をテーマに留学し、また避難民のキャンプ地を訪れ、子供たちに対するボランティア活動を行っています。いくつかのクラブもネパールやベトナム等でグローバル補助金を利用しながら、あるいはクラブ独自の活動として教育者の育成や教育環境の整備等、教育の改善に持続可能な成果をもたらす事業を行っています。是非とも、このような奉仕活動を行っているクラブは広く他のクラブにも呼びかけ、連携してより大きな活動を行っていただければと思います。

最後に「ロータリーの友」についてです。ロータリーの友は日本のロータリー34地区のロータリー会員のためのロータリー地域雑誌として、RIの方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区、ロータリークラブおよび会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また国内外の各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与することを発行の目的としています。皆様のクラブの研修に利用し、またクラブの奉仕活動の掲載を図るなど積極的な活用をお願い致します。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナーメッセージ	1
基本的教育と識字率向上月間によせて	2
RLI 第9期を終えて	3
第一回諮問委員会報告	3

ガバナー月信 2017年 9月号

ガバナー補佐就任のご挨拶	4~6
会員増減・出席率(7月度) 特別コラム	7
新会員・物故会員紹介 (奥付)	8



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



“基本的教育と識字率向上月間によせて”

国際ロータリー第2710地区パストガバナー
諏訪 昭登

9月は上記の月間であります。しかし、日本では殆ど関心を持ち難い現状があります。しかしながら世界の実態を見ると、決して無関心でいられない事がわかります。

そもそも識字率とは、文字(書記言語)の読み書きができる理解できる能力を持った人の割合のことです。識字率は国連が発表する教育指標を算出するための重要な一つの要素とされ、教育は幸福の主な構成要素との見地から、経済発展、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の指標となり、先進国か途上国かの判断基準になっています。統計によれば、世界で16歳以上の人で7億8100万人(その内60%が女性)が読み書きできず、学校へ通えない子どもが5700万人存在します(因みに世界人口は73億人です)。読み書き能力の欠如は、飢餓疾病、極貧やそれに起因する様々な悲惨な被害につながります。

RIは30余り前から識字率向上をポリオ撲滅に次ぐ優先事項になるのではないかといつて強調しています。その沿革をご紹介します。

- 1986年、RI理事会は機能的識字率(日常生活に不自由なく参加できる読み書き能力)の向上を10年間の強調プログラムとした。そして1992年にはこれを2000年まで延長している。
- 1997年、グレン・キンロス会長は計算能力を加えたライトハウス識字率向上プロジェクトを導入、推進を呼びかけた。この間、1985年にはタイ国でのCLE(語学力集中研修)の成功で、ロータリー財団は3H補助金を5年間供与し、非識字率撲滅推進を強調した。
- 2001年、国連は2003年～2012年を「国際識字10年」と宣言し、RIは賛同して参加を決定。

- 2006年～2007年、識字率向上月間を7月から3月に変更した。
- 2009年、この頃までRI会長強調事項の中に識字率向上は必ず入っていた。
- 2010年、RIとロータリー財団の一元化を目指す「未来の夢計画」が試験的プログラムとなって、その6つの重点分野の一つとして「基本的教育と識字率向上」が掲げられた。
- 2013年、「未来の夢計画」が承認実施された。
- 2015年、従来の特別月間が6つの重点分野をベースとしたものに変更され、当該月間は3月から9月に変更された。これは「国連識字デー」が9月8日であることに起因していると思われる。

現在RIは、識字率向上は基本的教育の充実からとの観点で、全世界の子どもが初等教育を受けられるには170万人の教師が必要と表明。そのための方策として、教師向けの研修、備品の提供、職業研修チームの派遣などを挙げ、その他生徒への支援プログラムの多くを推奨しています。

我々は、世界のロータリーの見地から、日本の現状に慢心することなく、財団補助金などの利用を足場として、国際的支援の一助を担う使命の実践を心がけるべきでしょう。詳しくはMy Rotaryから情報入手され、真剣に取り組んでみてください。



RLIパートIII報告書

2017-18年度 地区研修リーダー・パストガバナー 沖田 哲義

開催日時／平成29年6月18日(日) AM10:00～PM6:30

開催場所／広島YMCA国際文化センター

出席者／74名(当日出席者72名) 関係者／25名

- 内 容
- 分科会①「効果的なリーダーシップ戦略」→リーダーシップ
 - 分科会②「ロータリーの機会」→サービス(奉仕)
 - 分科会③「公共イメージと広報」→リーダーシップ
 - 分科会④「ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕」→奉仕
 - 分科会⑤「変化をもたらす」→メンバーシップ(会員組織強化)
 - 分科会⑥「規定審議会」→リーダーシップ
 - 卒後プログラム
 - 「他クラブや他団体との連携と奉仕活動について」

【感想】

RLIは、3本の柱(①リーダーシップ、②サービス、③メンバーシップ)で支えられた3階建て(1階=パート1=「ロータリアンとしての私」、2階=パート2=「私たちのクラブ」、3階=パート3=「私のロータリーの旅」)の家です。本日は、このうちのパート3であり、左記のような6つの分科会が設定されました。

パート3は、パート2より更に掘り下げた内容になっているものの、2回を経験しているためか、参加者は大変スムーズな議論をされていました。しかし、分科会①の参加者は大変苦労されているようでした。卒後プログラムは、藤中ガバナーが期待したとおりの議論ができたようでした。



第一回諮問委員会報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安本 政人

本年度第一回諮問委員会が7月9日(日)ホテルグランヴィア広島で開催されました。

出席者は、天野パストガバナーはじめ12名・藤中ガバナー・吉原ガバナーエレクト・畠田ガバナーノミニー及び地区関係者等19名です。

最初に、田原榮一直前ガバナーより以下の報告がありました。

1、会員の動向について

- 2017年5月末現在、期首より53名増
- 2017年5月末現在の当地区の平均出席率は90.52%

2、ロータリー財団について

- (ロータリー財団寄付状況合計646,851.35ドル)
- 地区別寄付報告 ○クラブ別寄付報告
- ボリオ寄付報告 ○グローバル補助金
- 2016-17年度DDF配分

3、米山記念奨学金について

当地区今期合計額は39,725,333円で地区順位12位

4、各種表彰について

5、RI第108回年次大会(アトランタ)の報告

地区内より34名参加

被爆・平和に関する展示

6、広島中央ローターアクトクラブについて

7、決算見込み概要

8、公式訪問見直しについて

続いて藤中ガバナーより2017-18年度地区運営に対する抱負の説明があり、地区及びクラブの達成すべき目標、地区内主要行事、海外関連事項、公式訪問予定一覧、地区指導者育成セミナー(8月27日(日)ホテルグランヴィア広島)、地区大会(10月28日(土)岩国国際観光ホテル、29日(日)シンフォニア岩国)、RYLA(11月11日(土)柳井クルーズホテル)の報告がありました。

地区内情報について(ローターアクト、インタークト、青少年交換学生、RCC、プロバス、米山記念奨学生(新規20名、継続3名))、地区補助金申請(16クラブ)、危機管理委員会組織の説明がありました。

また、九州北部豪雨災害への支援について、各クラブから任意の義捐金を募ることや戦略計画委員会の運営基本方針が報告されました。

最後に吉原ガバナーエレクトより、2018-19年度地区担当者名簿(案)、地区主要日程(案)について発表がありました。



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー補佐就任のご挨拶



グループ1 ガバナー補佐

下関西RC 室中 俊郎

本年度国際ロータリー第2710地区グループ1のガバナー補佐を仰せつかりました
下関西ロータリークラブの室中俊郎で

ございます。

昨年の10月10日に開催されました第1回ガバナー補佐会議に始まり、第9期ディスカッションリーダー研修、3回に亘るRLI等に参加しながらガバナー補佐としての役割を勉強して今日に至りました。

藤中ガバナーの今年度の基本的目標は「ロータリーの元気は地域の元気」です。グループ1の6クラブを訪問し、それぞれのクラブの素晴らしい活動や伝統を再確認しながら、各クラブがより一層元気になるように、またその元気が地域の活性化を増進するように連携と共感を深めることができればと、この一年一生懸命努めて参ります。

また、2018年2月17日(土)は、グループ1のIMを開催致します。皆様方のご参加をお待ちしています。

最後になりましたが、グループ1の会長・幹事の皆様のご協力に感謝を致します。



グループ2 ガバナー補佐

宇部西RC 山田 通夫

9ヶ月に亘るガバナー補佐の研修はなかなか辛いものでした。しかし、同じ役目の同僚との間にはすばらしい強い絆は生まれました。

研修の途中で、2016年規定審議会でのクラブ運営の「柔軟性」が明らかになり、マニュアルが薄くなり、驚きました。このことは、各クラブの独立性を強く求めるものであり、身のしまる思い

にもう一度あらためて呆然としました。

目下、ガバナーの各クラブへの公式訪問が進行しております。この公式訪問がさらに有意義な機会になるよう、山根幸彦ガバナー補佐幹事(宇部西RC)と所属クラブの皆さんとの話し合いを深めているところです。

ガバナーのお役目が、さらに万全のものとなるよう責任を深く感じ、努力しています。

平成30年2月3日のIM開催の準備に宇部西クラブの皆さんの力を得て進行しています。

より親睦のため、研修の場となることを念じています。



グループ3 ガバナー補佐

山口RC 牛見 正彦

図らずもグループ3のガバナー補佐を拝命いたしました。馬齢だけは重ねてはおりますが、ロータリーに関する知識に疎く、

皆様のお役に立つことができるかどうか不安ですが、“これも奉仕”と割りきり、お引き受けすることにした次第です。

この度、多くの事前研修や3回にわたるRLIのディスカッションリーダーとしてのお役目等を経て、ようやく正式就任の運びとなり

ました。7月末で、担当クラブの半数に当たる3クラブの公式訪問が終了し、現在、来年3月に開催するIMの基本構想を練っているところです。

これまでのクラブ訪問をとおして、各クラブにはそれぞれ固有の文化や伝統があり、それに基づいて個性豊かな活動が行われていることを、改めて確認いたしました。

これから、各クラブの個性を生かしながら、藤中ガバナーの意を体して、グループ内6クラブ相互の連携を図り、地域活性化のお手伝いができるよう微力を尽くしたいと考えております。皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

信条に掲げられているように“ロータリーの元気は地域の元気”更に地域に根差した連携した活動等、そのものを語られ、私自身すっかりその気になっていたの覚えています。

そして今現在、2クラブの公式訪問を終え、この原稿が載る頃は、補佐訪問、公式訪問2つのクラブを終えているでしょう。そして藤中年度の補佐に選ばれたのも、何かの御縁。なに分、いい加減な補佐ですが、グループ4のクラブをつなぐ架け橋となり、ガバナーにおかれましては、まだこれからが長丁場、御身体を御自愛され、この一年間宜しくお願い致します。

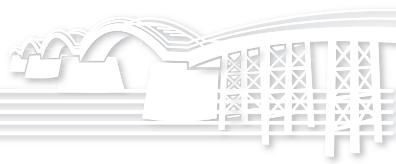


グループ4 ガバナー補佐

徳山RC 藤村 哲一

今年度、グループ4の補佐を務めさせて頂く、徳山RCの藤村でございます。

今想えば、昨年の第一回ガバナー補佐会議から始まり、各12のグループ補佐の皆様とご対面。さすがクラブより選ばれ、クラブを知り尽くされた方々ばかりでした。そして、藤中ガバナーの御挨拶の中で、まず印象は、にこやかで温和で、気さくで繊細と思いきや、これからクラブについては、



グループ5 ガバナー補佐
柳井西RC 秋田 京子

ロータリーには「YES」と「はい」しかないと教えられ、ガバナー補佐をお引き受けすることになりました。お引き受けしたもの

のロータリーについて勉強不足の私に務まるのかと、心細い思いをしておりました。

そんな中、早速1月よりRLIのディスカッションリーダーとしての任務が始まり、6月までに3回の研修が終わりました。RLIはまさに

リーダーを育成するセミナーですが、このディスカッションリーダーをお引き受けしたことが、私にとりまして大変な勉強、経験になりました。

今年度は我がG5から藤中ガバナーを輩出しております。RLIでの経験を活かしながらG5一致団結協力して、素晴らしい実りある一年になりますよう努めさせていただく所存です。

10月の地区大会、11月11日には柳井ロータリークラブ主管でRYLAが開催されます。また、G5のIMを2月4日に予定しております。

一年間どうぞよろしくお願ひいたします。



グループ6 ガバナー補佐
広島安佐RC 奥芝 隆

本年度グループ6ガバナー補佐を務めさせていただきます、広島安佐ロータリークラブの奥芝です。会員数の少ないクラブの代表が、グループ6の皆様のお役に立てるのか不安でいっぱいでしたが、ついに昨年10月10日の第一回ガバナー補佐会議がスタートいたしました。そしてRLIのディスカッションリーダーや、地区研修、ガバナーを囲む会等々を経験してまいりました。特に

RLIの最終日は、初めてのリーダーの経験のため、どつと疲れが出たものでした。

本年度の藤中ガバナーの目標「ロータリーの元気は地域の元気」は、まさに私も感じるところがあり、その通りと大共鳴いたしております。藤中ガバナーの思いと熱意を感じ、お役に立てるように、クラブとの橋渡しをしたいものだと考えております。

私自身、まだまだロータリーの知識、経験、見識も及ばないですが、勉強を重ね、少しでも皆様のお役に立てますよう、笑顔で一生懸命頑張ります。どうぞこの一年間、ご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。



グループ7 ガバナー補佐
広島中央RC 迫田 勝明

この度、2017-18年度グループ7のガバナー補佐を仰せつかりました広島中央RCの迫田勝明です。広島中央RCは昨年度田原ガバナーを輩出し、貴重な一年間を経験しました。その上で、今年度もガバナー補佐を担当することになり、IMの開催など、クラブの皆様には大きな負担をおかけすることになりますが、よろしくお願ひします。

ほぼ半年間の準備期間を経て、7月から本格的なガバナー補佐の活動に入りますが、ガバナーの公式訪問が7、8月の早期に集中して、グループ内7クラブの役員の皆様には就任早々ご苦労をおかけすることになりますが、ご協力のほどよろしくお願ひします。

本年度は、藤中秀幸ガバナーの「ロータリーの元気は地域の元気」の目標のもと、グループ全体の元気を目標に、7つのクラブが少しでも元気に奉仕活動ができますよう、微力ですが努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



グループ8 ガバナー補佐
西条RC 前垣 壽男

藤中秀幸2710地区ガバナーのもとG8のガバナー補佐を担当する事になりました西条RCの前垣壽男です。法政大学法学部卒業で、藤中ガバナーには同窓生として親近感を持っています。学生時代は体育会系の部に所属して山野を歩き廻ったものです。大学には校風があります。部活動にはカラーがあります。学生時代の4年間で私は人生観が変わりました。RCでは

各委員会に所属し、創立40周年の会長を務めました。非常に楽しく充実した一年間でした。その後、少しRC運営から一歩引いた会員となって、何度か補佐の話がありましたが逃げてきましたし、ぼつぼつ退会してもと脳裏にありましたが、今回は何故か受けてしまいました。RLIの研修を受け、RI会長の「ロータリー:変化をもたらす」、藤中ガバナーの「信条」と「目標」の言葉に心が動きました。各RCが元気であれば会員も変わる。各RCの伝統とカラーを生かした活動を起こせば、楽しいRCライフは作れるでしょう。藤中ガバナーと共に!!



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



グループ9 ガバナー補佐

三原RC 福島 健人

2017-18年度グループ9のガバナー補佐を務めることになりました三原ロータリークラブの福島健人です。私のロータリー歴は32年目を迎えます。2003-04年度にクラブ会長を受けて以来の大役であるガバナー補佐ですが、役目を受けたからには自分で何が出来るかを考え行動したいと思います。私が担当する7クラブ(尾道・三原・竹原・瀬戸田・因島・尾道東・広島空港)のロータリー活動が楽しく出来る様に各クラブ会長をサポートし、藤中秀幸ガバナーをしっかりと支えて行きたいと思っております。

2016年10月10日の第1回ガバナー補佐会議に始まり、第9期 RLI 2710 ディスカッションリーダー研修、RLI・Part1~3、PETS&地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会、ガバナーエレクト

を囲む会と、約9ヵ月に亘る長い準備期間を経て、いよいよ新年度の7月を迎えました。年4回以上のクラブ訪問をして頂きたいと藤中ガバナーが話されていましたので、早速5月10日~6月8日までに1回目のガバナー補佐エレクトとして各クラブを訪問し、次年度には宜しくお願い致しますと挨拶をし、スタートを切りました。

ガバナー補佐として藤中ガバナー、地区そしてグループ内クラブとの連携を図り、今年度、藤中ガバナーが掲げられている「時代の変化の先頭に立とう～ロータリーの心で地域の創生を～」そして「ロータリーの元気は地域の元気」に取り組む事を推進するために、ガバナー補佐として頑張って参りたいと思います。

終わりに、地区と各クラブの事業が円滑に進むよう皆様の手足となる覚悟でございますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。



グループ10 ガバナー補佐

福山東RC 小西 直人

グループ10のガバナー補佐を拝命いたしました。

AGの仕事は前年10月のAG会議に始まり、11月のRLIのディスカッションリーダー(DL)研修で、しごかれ脅されて、RLIでまるまる三日間DLを務め、加えて会長幹事引継会、GEを囲む会等々を行なううちに、AGとして何を

行なべきかの役割がおぼろげに見えてきたり、腹が据わってきて、7月1日を迎えることになりました。

2名のガバナー補佐幹事及び事務局メンバーのご協力を得ながら、国際ロータリーの方向性と具体的に地区での活動を指導するガバナーの考え方をグループ内の各クラブに伝え、また各クラブの活動状況、課題等をガバナーや地区委員会に伝えることを支援し、ガバナーと各クラブを結ぶ接点の役割を果たしていきたいと考えております。

ご支援ご指導宜しくお願い申し上げます。



グループ11 ガバナー補佐

福山南RC 濑来 和男

2017-18年度グループ11ガバナー補佐を務める事になりました福山南ロータリークラブの瀬来和男です。私に課せられた

役目は、ガバナー方針及び地区目標を各クラブが円滑に達成できるべく、地区との調整役として務める事だと考えております。

本年度、RI会長の強調事項並びに藤中ガバナーの方針に

よる「環境に焦点を当てたプロジェクトの実施」・「ロータリー間の連携」・「ロータリー以外の企業、NPOとの連携」・「公共イメージと認知度の向上」等の方針に対し、G10・G11としてどの様に取り組むか、また何が出来るかと検討させて頂きました。そこで、我々地域の環境の向上に少しでもお役に立て、またロータリーの公共イメージ・認知度の向上に繋がれば幸いと考え、植樹の事業をG10・G11全クラブの共同事業として、提案したいと考えております。何卒、各クラブのご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。



グループ12 ガバナー補佐

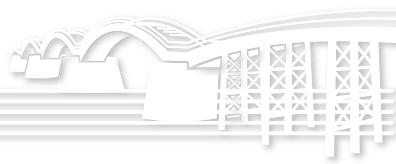
三次RC 明山 晃映

本年度グループ12のガバナー補佐を拝命致しました三次ロータリークラブの明山晃映と申します。当グループにおいて

は諸般の事情により、昨年度に続き三次ロータリークラブより2年連続してのガバナー補佐輩出という大変イレギュラーな状況の中、急遽私どもへその大役が廻ってまいりました。若輩で

ありロータリーの知識も浅く、その責務を全う出来るのかと不安な日々を過ごしています。

さて、本年度藤中ガバナーはガバナー信条として「時代の変化の先頭に立とう～ロータリーの心で地域の創生を～」と掲げられました。当グループ内の5クラブにはそれぞれの地域があり、ロータリーの心でその地域とより一層繋がりを持つことが大切であると考えます。ガバナー補佐として地区と各クラブのパイプ役となりますように、微力ではございますが頑張ってまいりますので、何卒ご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。



国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2017年7月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
1	長門	95.74	25	25	4	0	0	
	下関	86.73	49	51	1	2	0	
	下関中央	85.83	31	31	6	0	0	
	下関東	82.61	54	55	2	1	0	
	下関北	90.08	43	41	0	0	2	
	下関西	84.28	35	35	1	0	0	
2	計	87.55	237	238	14	3	2	
	萩	96.52	57	54	0	0	3	
	萩東	100.00	22	22	1	0	0	
	美祢	81.00	24	25	0	1	0	
	小野田	74.28	35	35	2	0	0	
	宇部	96.83	46	46	3	0	0	
	宇部東	75.00	14	14	1	0	0	
	宇部西	90.40	53	52	3	0	1	
	計	87.72	251	248	10	1	4	
	防府	91.46	54	55	0	1	0	
3	防府北	86.67	17	20	1	3	0	
	防府南	76.58	37	37	7	0	0	
	山口	84.28	50	50	4	0	0	
	山口県央	90.99	30	31	1	1	0	
	山口南	84.61	41	40	4	0	1	
4	計	85.77	229	233	17	5	1	
	光	97.09	44	48	0	4	0	
	周南西	84.67	55	55	4	0	0	
	徳山	95.11	46	49	1	3	0	
	徳山セントラル	93.79	24	25	0	1	0	
5	徳山東	94.63	51	51	0	0	0	
	計	93.06	220	228	5	8	0	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
5	岩国	88.25	60	63	0	4	1	
	岩国中央	88.58	44	44	3	0	0	
	岩国西	90.67	59	60	4	1	0	
	柳井	100.00	33	33	2	0	0	
	柳井西	97.10	24	26	2	2	0	
	計	92.92	220	226	11	7	1	
6	広島	99.12	115	122	1	8	1	
	広島安芸	95.59	39	40	2	1	0	
	広島安佐	78.00	25	24	2	0	1	
	広島東	98.43	95	101	7	6	0	
	広島北	100.00	92	92	0	0	0	
	広島陵北	100.00	51	50	3	0	1	
7	大竹	89.52	32	32	0	1	1	
	計	94.38	449	461	15	16	4	
	広島中央	100.00	78	78	7	2	2	
	広島廿日市	91.92	33	33	1	0	0	
	広島城南	97.73	44	44	3	0	0	
	広島南	99.40	88	88	0	0	0	
8	広島東南	100.00	100	100	13	1	1	
	広島西南	100.00	62	64	3	2	0	
	広島西	100.00	81	81	0	0	0	
	計	98.44	486	488	27	5	3	
	江田島	91.67	18	18	0	0	0	
	東広島	99.27	33	34	2	1	0	
9	東広島21	87.50	18	18	4	0	0	
	吳	94.04	65	67	0	2	0	
	吳東	93.55	32	32	0	0	0	
	吳南	92.06	59	59	3	0	0	
	西条	100.00	38	38	3	0	0	
	計	94.01	263	266	12	3	0	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初		当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会	
9	広島空港	83.46	27	27	3	0	0	
	因島	93.42	18	19	0	1	0	
	三原	91.53	60	59	0	0	1	
	尾道	83.22	78	80	2	2	0	
	尾道東	92.44	53	53	4	1	1	
	瀬戸田	80.00	5	5	0	0	0	
10	竹原	95.92	32	32	4	0	0	
	計	88.57	273	275	13	4	2	
	府中	79.00	26	26	0	0	0	
	福山	94.63	81	80	0	0	1	
	福山東	95.30	48	48	2	0	0	
	福山丸之内	96.49	31	32	1	1	0	
11	鞆の浦	91.30	23	23	0	0	0	
	福山REC2710*	100.00	21	21	4	0	0	
	計	92.79	230	230	7	1	1	
	福山赤坂	84.65	48	50	7	2	0	
	福山北	94.58	42	43	0	1	0	
	福山南	88.47	57	59	2	2	0	
12	福山西	96.95	40	41	4	1	0	
	松永	87.02	53	53	2	0	0	
	計	90.33	240	246	15	6	0	
	吉舎	97.06	18	17	0	0	1	
	三次	80.70	39	39	0	0	0	
	三次中央	97.65	44	44	5	0	0	
13	庄原	89.06	33	33	4	0	0	
	東城	98.50	19	19	1	0	0	
14	計	92.59	153	152	10	0	1	
	第2710地区計	91.21	3251	3291	156	59	19	

*正式名称「福山ロータリーEクラブ 2710」

特別コラム

日本のロータリー誕生とわが地区史③

国際ロータリー第2710地区バストガバナー 西村栄時

超我の人【米山梅吉】

ここで『米山梅吉』に触れておきたい。幼くして父を失い、母の実家静岡県三島に引き取られたのち近隣長泉の豪農米山家の養子となる。沼津中学校に通っていた16歳のとき東京に出奔。アメリカ大陸へ飛翔の念押えがたぐ20歳で渡米。苦学の末、28歳で帰国し、尊敬していた井上馨の推挙で三井銀行に職を得る。創業家三井一族から嘱望され異例の出世を重ね、明治42年42歳で常務取締役に抜擢。大正12年56歳で退職し、予て温めていた三井信託を創業し社長となる。昭和9年会長に退き、三井家が社会・文化事業に寄与する目的で設立した(財)三井報恩会の理事長に就任。13年には勅撰で貴族院議員も務めた。類まれな国際的知識と教養、日本及びアジアにしっかりスタンスを置いた祖国愛の持ち主、ロータリーの信条『超我の奉仕』を自ら実践した崇高な姿は、ロータリアンが仰ぎ見る理想の人である。長く揉め心を痛めていた長泉の水利権が纏まったとき、喜びの気持ちを詠んだという『いさかひもなく満々の青田哉』の句碑は、周囲を気遣う円満な人柄を良く表し、今は墓碑として多くの参拝を受けている。

東京クラブを創立(1920年)したとき53歳、断腸の思いでクラブの解散を宣したのが1940年(昭和15年)9月の73歳、逝去は1946年(昭和21年)4月28日、79歳であった。彼は日本のロータリーが再生復帰したことを知らない。

米山に因む財団は脈々と

米山梅吉が没して6年のちの1952年、功績を称え“平和日本”を世界に伝える願を込め東京クラブは『米山基金』を起した。『月にタバコ一箱節約して留学生に支援を!』をスローガンに全国的運動に発展させ、米山が生前苦学生にポケットマネーで支援していたことに由来し、全ロータリアンの寄付金をわが国の大学・大学院で学ぶ主としてアジアの留学生の支援に充てた。1967年文部省から財団の認可を得、今や外国人留学生に対する国内最大の奨学制度に発展している『公益財団法人米山記念奨学会』である。

米山に因む今一つの財団に『米山梅吉記念館』がある。遺徳を偲び偉業を顕彰するため縁ある長泉町に昭和44年開館した。『他人の楽しむのを見ているほど、幸せはない』の人生を歩んだ米山の人柄・交友の人々・奉仕の実践・ロータリーの真髄や東京クラブの設立の経緯などが見事に展示され、ロータリアン必見の場所である。記念館が全国会員の共感と賛助を得て発展していることは大変喜ばしい。素晴らしい靈峰富士を仰ぎながらの移動例会をお勧めしたい。

(敬称略)

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

新会員紹介



国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:<http://ri2710.com/>